

平成30年度京都文教大学公開講座 実施報告事業報告

昨年度に実施した過去受講生を対象にアンケート調査の結果において、「社会人のまなび直しの機会の創出」や「リカレント講座」の開催を希望する声が寄せられていた。

この結果を受けて、今年度は「京都文教大学専門講座＜精神保健福祉＞」と銘打ち、本学の学部特性を活かし、福祉職に携わる現任者や支援者を主な対象に、「精神に『障がい』のある本人と家族への支援（全3回）」を少人数制の講座として開講した。

現任者が参加しやすいよう夜間に開講し、また講師以外にも障がい当事者の家族をお招きし、より現場のニーズをくみ取れる機会とした（延べ：91名）

主催：京都文教大学
受講料：1回1,000円

後援：宇治市教育委員会
開講場所：京都文教学園宇治キャンパス

回数	テーマ/担当講師	開講日時	定員
1	<p><テーマ> 精神に「障がい」のある本人とその家族が抱える困難と必要な支援 —京家連調査およびイギリス・パーミンガムの視察から—</p> <p><講師> 松田美枝 (京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科准教授) 熊取谷晶氏 (京都府健康福祉部障害者支援課 認定・精神担当)</p>	9月21日(金) 18:30～20:00	20名
2	<p><テーマ> 少子高齢化社会のなかでの精神障害者家族その支援のあり方 ～高齢化する家族、高齢障害者、障害がある親を支えるヤングケアラーについて～</p> <p><講師> 吉村夕里 (京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科教授)</p>	10月9日(火) 18:30～20:00	20名
3	<p><テーマ> 社会資源の考え方と現状</p> <p><講師> 杉原努 (京都文教大学臨床心理学部教育福祉心理学科准教授)</p>	11月16日(火) 18:30～20:00	20名



「第1回目の様子」



「第2回目の様子」

